

環境経済・造園企業特論（2単位）

担当者氏名 金子忠一

◆学習・教育目標（到達目標を記載）

地球規模で普遍化している「持続可能な発展」の方向は、環境関連ビジネスの一つである造園学関連業の実務にあっても取り組むべき命題である。この特論では、広範かつ多面的な側面をもつ造園学の観点から、環境経済論と企業経営論の2つの側面の経済論の基礎理論について修得する。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

循環型社会	環境マネジメント	社会貢献	公共財
環境経済学	環境経済価値評価	経営論	技術者倫理

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	環境経済論 1	循環型社会における緑の経済学とは	配布された資料を事前に十分理解した上で、環境経済に関わる論文や書籍を収集してうえ何が現状として大きな問題や課題となっているかを自身の視点から考えること。また造園業界が刊行している各種出版物・新聞などを定期的に見ることで、現在の造園企業の現状や課題を理解する。
2	環境経済論 2	環境マネジメント	
3	環境経済論 3	環境会計と環境報告書	
4	環境経済論 4	環境経済の基礎理論と、企業の社会的責任	
5	環境経済評価論 1	環境経済価値評価とは	
6	環境経済評価論 2	環境経済学の手法	
7	環境経済評価論 3	実例分析	
8	環境経済評価論 4	環境経済学の理論と実際	
9	企業経営論 1	造園・緑化関連企業における経営論の視点	
10	企業経営論 2	経営論の分析	
11	企業経営論 3	経営論の展開	
12	企業経営論 4	経営論の現状と課題	
13	技術者の倫理 1	技術者における倫理観の必要性	
14	技術者の倫理 2	環境倫理	
15	技術者の倫理 3	技術者の倫理の現状とこれからの対応	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

小テスト(30%)、レポート課題(70%)で評価する

◆オフィスアワー

毎週水曜日 10:40~12:00、11号館5階研究室にて

◆その他受講上の注意事項